

「くまもと景観賞」について

景観は眼にうつる環境とも言われています。

緑にあふれ、地域の文化や伝統を感じさせる美しい街並み景観や田園景観は訪れる人の共感を誘うとともに、そこに住む人にも我が町・ふるさとへの愛着をますます高めます。

“くまもと景観賞”は、私たちの郷土＝熊本が緑と潤いに満ちた美しい県土となるよう、良好な景観形成に大きく貢献している人々の功績を広く顕彰することを目的としています。

募集要項

1 表彰の対象

熊本県内において、良好な景観形成に大きく貢献している個人もしくは団体を表彰します。

具体的には、次のようなものを対象とします。

- 地域の歴史、生活文化、自然などを活用した景観
- 地域住民、企業、行政それぞれの参加と協力で創出された景観
- 地域に潤いと安らぎを与える景観
- 地域に新たな魅力をもたらす景観
- その他優れた景観形成に寄与しているもの

2 応募資格

自薦・他薦を問わずどなたでも応募できます。

(他薦の場合、被推薦者の承認を得た上で応募してください。)

3 応募方法

応募用紙に必要事項を記入し、写真貼付のうえ、熊本県都市計画課景観公園室、又は最寄りの広域本部景観担当課に提出してください。(郵送可)

メールでの応募も可。(但し、受信制限があるので4MB以下)

Eメール:kumamotokeikanshou@pref.kumamoto.lg.jp

4 募集期間

平成27年6月22日(月)～平成27年7月31日(金)

5 選考方法

くまもと景観賞審査委員会を設け審査します。

- 一次審査 書類審査
- 二次審査 現地審査

■審査委員長

植田 宏 国立大学法人 熊本大学大学院
自然科学研究科准教授

■審査委員

伊東 龍一 国立大学法人 熊本大学大学院
自然科学研究科教授

太田 リカ グラフィックデザイナー

薛 孝夫 学校法人 西日本短期大学
緑地環境学科特任教授

原 幸代子 熊本県文化協会専務理事

吉村 尚子 株式会社 風土 & フードデザイン YOSHIMURA
代表取締役/プランナー

※五十音順

6 発表・表彰

表彰式は、平成28年2月(予定)

受賞者には、12月末までに連絡します。

過去の受賞作品はHPでご覧ください。

[くまもと景観賞の紹介です](#) 検索

昨年(第27回)の受賞作品

部門賞 地域景観賞

おうだ
宇土市 宇土市網田焼の里資料館

細川藩に仕えた中國家の旧屋敷を活用した施設である。敷地内には主屋、蔵、受付、門がある。大小の屋根や白漆喰の壁などが成す景観は、伝統様式の建物が残る集落によく調和し、かつ集落の中心的な存在として際立つ。



部門賞 地域景観賞



そうざ
八代市 左座家

山深い五家荘にある茅葺きの民家、左座家。自然と謙虚に向き合いながら暮らしてきたことが伺える佇まいである。200年ほど前に建造された屋敷で、その遺構を復元し、保存することによりしっかりと力を注いでいる。

部門賞 緑と水の景観賞

宇土市 轟泉自然公園界隈

轟水源を含む轟泉自然公園一帯は官民の協力で良く管理され、あふれ出る清流や古い樹林など水と緑の恵みと、日本最古の上水道技術や宇土細川家の歴史など郷土の歴史の奥深さを感じることができる空間となっている。



奨励賞



嘉島町 嘉島町民会館

周囲の雄大な山並みや水田風景と調和した、高さを抑さえ、水平性を保ち、曲面を活かしたデザインとなっている。また、色彩も周辺的环境に配慮し、落ち着いた風格を醸し出している。外構の整備に期待したい。